

令和4年度第1回台東区障害者福祉施策推進協議会当事者検討チーム議事録

開催日時	令和5年3月13日（月曜日） 15:00～15:45	
開催場所	台東区役所 10階 1001会議室	
出席者	委員	福田委員、折山委員、青木委員、田崎委員、小林委員、佐藤委員、井上委員、新井委員、桐木委員、小山委員、山口委員、荒井委員、高橋委員、水田委員
	その他	[障害福祉課] 庶務担当係長、総合相談担当係長2名、給付担当係長
	事務局	[障害福祉課] 庶務担当係長、職員2名 [保健予防課] 職員1名
欠席者	なし	
傍聴	なし	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 事務局挨拶 3 委員紹介 4 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第7期台東区障害福祉計画の策定について (2) 令和4年度台東区障害者実態調査の結果について (3) その他 5 閉会 	
配布資料	<p>資料1 台東区障害者福祉施策推進協議会当事者検討チーム委員名簿</p> <p>資料2-1 第7期台東区障害福祉計画の策定について</p> <p>資料2-2 区障害福祉計画に関連する国の計画、基本指針</p> <p>資料2-3 第7期台東区障害福祉計画策定スケジュール（案）</p> <p>資料3 令和4年度台東区障害者実態調査の結果について</p> <p>資料3別添 台東区障害者実態調査報告書（概要版）</p> <p>資料3別添 台東区障害者実態調査報告書（本編）</p> <p>参考資料 第6期台東区障害福祉計画（令和3年度～令和5年度）</p>	

— 意見交換内容 —

(1) 第7期台東区障害福祉計画の策定について・・・資料2-1、2-2、2-3

なし

(2) 令和4年度台東区障害者実態調査の結果について・・・資料3、別添

委員

調査票の回収率が50%台だが、今後、回収率を上げるために考えていることはあるか。

障害福祉課

回収率を上げるため、今回からインターネット回答を導入した。それによって、障害児の調査は回収率65%となるなど成果はあったと思う。

障害者の調査は、前回の回収率より若干下がっている。台東区障害者地域自立支援協議会などにご協力いただきながら実態調査の設問項目の検討を重ねてきたが、少し充実させ過ぎたかもしれない。設問を絞るのはなかなか難しいものの、より回答しやすい調査票にするため、インターネット回答フォームの形式なども含めて、今後の課題として検討していきたい。

委員

調査は無作為抽出で人数を出しているとのことだが、手帳所持者は増えていると思う。調査対象者数を増やすことは検討しているか。また、インターネット回答を取り入れたとのことだが、それを活用して調査対象者を増やすなどはできないか。

障害福祉課

調査対象者数は、前回同様、障害ごとの手帳所持者数の一割程度になるよう抽出している。統計学上、必要なサンプル数は満たしていると認識している。調査対象者数を増やすかどうかについては、ご意見を踏まえながら、今後の課題としていきたい。

委員

障害福祉サービスの利用状況について、利用したことが「ある」と「ない」で回答がされているが、障害福祉サービスを利用していない人の割合が多いため、その方々の意見が多く反映されるのではないかと。障害福祉サービスを利用していない方々の意見を聞くことも必要だが、障害福祉サービスを利用している方々も、もっとこうして欲しい、という意見をたくさん持っていると思う。

もう少し障害福祉サービスを利用している方々が回答できるように割合を

変えるのか、もしくは、利用している障害福祉サービスから上手く抽出できるのであれば、少し考えてみても良いのではないかと思う。

障害福祉課

おっしゃるとおり、障害福祉サービスを利用している方々の方が切迫性などもあると思う一方、障害福祉サービスを利用している方々は計画相談支援事業所が関わっているため、台東区障害者地域自立支援協議会などで事業所の皆様を通じてご意見をいただける場面も多いと考えている。この当事者検討チームもその一つである。

一方、障害福祉サービスを利用していない方々のご意見を聞く場がなかなかないため、そういう意味で実態調査が一つの資料になると考えている。障害福祉サービスを利用している方々に関しての設問も、次回以降、更に検討していきたい。

(3) その他

なし